

13. DNA メチル化酵素阻害剤治療効果に関わる因子の探索 (7分) (14:29-14:36)  
 名古屋大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 ○直江知樹、富田章裕、入山智沙子、白幡瑞穂
14. 低リスクMDSに対するアザシチジンの臨床研究の提案 (7分) (14:36-14:43)  
 東京大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 市川幹、○南谷泰仁、黒川峰夫
15. iPS細胞を用いた造血不全の病態解明 (7分) (14:43-14:50)  
 東京大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 黒川峰夫、○熊野恵城
16. 家族性血小板異常症の調査研究 (7分) (14:50-14:57)  
 東京大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 黒川峰夫、○市川幹

## 休憩

- 重点研究「不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究」班 座長 小川誠司
17. 不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究班 班長報告 (10分) (15:15-15:25)  
 東京大学 医学部附属病院 がんゲノミクスプロジェクト ○小川誠司
18. MDS ゲノム解析の初期報告 (7分) (15:25-15:32)  
 東京大学 医学部附属病院 がんゲノミクスプロジェクト 小川誠司、○吉田健一  
 MDS ゲノムコンソーシアム
19. DNA メチル化酵素阻害剤治療効果に関わる因子の探索 (7分) (15:32-15:39)  
 名古屋大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 ○直江知樹、富田章裕、入山智沙子、白幡瑞穂
20. 13q-を伴う骨髄不全に関する全国調査 (7分) (15:39-15:46)  
 金沢大学大学院 医学系研究科細胞移植学 ○中尾眞二、片桐孝和、細川晃平、山崎宏人
21. 骨髄異形成症候群における20q欠失領域の解析 (7分) (15:46-15:53)  
 東京女子医科大学 血液内科 泉二登志子、○志関雅幸
- 溶血性貧血領域 座長 金倉譲
22. これまでの研究結果と今後の計画について (4分) (15:53-15:57)  
 大阪大学 血液・腫瘍内科 ○金倉譲
23. PNH研究(ソリリス関連、I-PIG、PIG-A、日本PNH研究会(JPSG)、PNH FCMネットワーク(OPTIMA study)、PNH Registry、各個研究)に関する3年間の研究計画 (10分) (15:57-16:07)  
 大阪大学 血液・腫瘍内科 ○金倉譲
- [指定発言1] I-PIG、HMGA2 関連  
 大阪大学微生物病研究所 ○木下タロウ
- [指定発言2] ソリリス関連、I-PIG、PIG-A、日本PNH研究会(JPSG)、PNH FCMネットワーク(OPTIMA study)、PNH Registry、各個研究について  
 大阪大学血液・腫瘍内科 ○西村純一
24. 長期補体欠損における発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)病態の解析 (7分) (16:07-16:14)  
 和歌山県立医科大学 輸血・血液疾患治療部(血液内科) 中熊秀喜、○花岡伸佳  
 熊本大学 感染免疫診療部 川口辰哉  
 熊本大学 血液内科 堀川健太郎

熊本大学 輸血・細胞治療部	米村雄士		
大阪大学 微生物病研究所	木下タロウ、村上良子		
25. 自己免疫性溶血性貧血解析の今後 3 年間の取り組み		(7 分)	(16:14-16:21)
自治医科大学 地域医療学センター	亀崎豊実、○豊辻智則、梶井英治		
<b>小児科領域</b>	<b>座長 中畑龍俊</b>		
26. これまでの研究結果と今後の計画について		(4 分)	(16:21-16:25)
京都大学 iPS 細胞研究所	○中畑龍俊		
27. 小児血液学会再生不良性貧血・骨髄異形成症候群中央診断システム		(7 分)	(16:25-16:32)
名古屋大学 小児科	小島勢二、○濱麻人		
聖路加国際病院小児科	真部淳		
名古屋第一赤十字病院病理部	伊藤雅文		
東邦大学 医療センター大森病院輸血部	小原明		
京都大学 iPS 細胞研究所	中畑龍俊		
28. 造血障害を来す疾患からの患者特異的 iPS 細胞樹立		(7 分)	(16:32-16:39)
京都大学 iPS 細胞研究所	○中畑龍俊、前川直也、大嶋宏一、斎藤潤		
東海大学小児科	矢部みはる、矢部普正		
29. 日本小児血液学会に前方視的登録された小児不応性血球減少症 75 例のまとめ		(7 分)	(16:39-16:46)
聖路加国際病院小児科	真部淳、○長谷川大輔		
名古屋大学 小児科	小島勢二		
東海大学 小児科	矢部普正		
京都大学 iPS 細胞研究所	中畑龍俊		
30. 再生不良性貧血(先天性・後天性)に対する至適移植前処置の確立		(7 分)	(16:46-16:53)
東海大学小児科	○矢部普、矢部みはる		
名古屋大学 小児科	小島勢二		
聖路加国際病院小児科	真部淳		
京都大学 iPS 細胞研究所	中畑龍俊		
<b>造血幹細胞領域</b>	<b>座長 岡本真一郎</b>		
31. これまでの研究結果と今後の計画について		(4 分)	(16:53-16:57)
慶應義塾大学 医学部 内科血液研究室	○岡本真一郎		
<b>疫学領域</b>	<b>座長 太田晶子</b>		
32. これまでの研究結果と今後の計画について		(4 分)	(16:57-17:01)
埼玉医科大学 医学部公衆衛生学	○太田晶子		
閉会の挨拶	黒川峰夫	(3 分)	(17:01-17:04)

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

## 特発性造血障害に関する調査研究

(研究代表者 黒川峰夫)

### 重点研究

## 不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究

(研究代表者 小川誠司)

### 平成 23 年度第二回合同班会議総会

平成 24 年 1 月 27 日 (金) 13:00～ 東京大学医学部附属病院臨床講堂

### 「特発性造血障害に関する調査研究」平成 23 年度第二回班員会議

平成 24 年 1 月 27 日 (金) 11:30～ 東京大学医学部附属病院第一会議室

### 「不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究」平成 23 年度第二回班員会議

平成 24 年 1 月 27 日 (金) 10:30～ 東京大学医学部附属病院第三会議室

ご発表の方は、CD-ROM もしくは USB メモリーを受け付けにお渡し下さい。ご発表の 30 分前にはお渡し頂きますようよろしくお願い申し上げます。

配付資料は一枚目の右肩に演題番号を口で記したものを 150 部ご用意下さい。

多くの演題の発表・討論がございますので、円滑な進行にご協力下さい。

### プログラム

開会の挨拶	黒川峰夫	(3分)	(13:00-13:03)
厚生労働省 挨拶	厚生労働省健康局疾病対策課	(5分)	(13:03-13:08)
国立保健医療科学院 挨拶	国立保健医療科学院	(5分)	(13:08-13:13)
1. 特発性造血障害に関する調査研究班 班長報告		(10分)	(13:13-13:23)
	東京大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 黒川峰夫		
再生不良性貧血領域	座長 中尾眞二		
2. これまでの研究結果と今後の計画について		(3分)	(13:23-13:26)
	金沢大学医薬保健研究域細胞移植学・病態検査学 ○中尾眞二		

3. Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group(APBMT),  
Severe Aplastic Anemia Working Party (WPSAA)の活動について (12分) (13:26-13:38)
- 名古屋大学 小児科 ○小島勢二  
金沢大学 細胞移植学 中尾眞二
4. HLA-A アレル欠失血球とHLA クラスIアレルの偏りからみた肝炎後再生不良性貧血の特殊性 (10分) (13:38-13:48)
- 金沢大学医薬保健研究域細胞移植学・病態検査学 ○中尾眞二、片桐孝和、細川晃平、山崎宏人  
東京都赤十字血液センター 柏瀬貢一  
東京大学医学部付属病院がんゲノミクスプロジェクト 佐藤亜以子、真田 昌、小川誠司
- 赤芽球癆領域 座長 廣川誠
5. これまでの研究結果と今後の計画について (3分) (13:48-13:51)
- 秋田大学 血液・腎臓・膠原病内科 ○廣川誠
- 5-1. 日本人における $\gamma\delta$ T細胞サブセットの標準値と加齢による変化 (5分) (13:51-13:56)
- 秋田大学 血液・腎臓・膠原病内科 ○道下吉広、廣川 誠、澤田賢一
- 5-2. 後天性慢性赤芽球癆の前方視的コホート研究の進捗状況 (5分) (13:56-14:01)
- 秋田大学 血液・腎臓・膠原病内科 ○廣川 誠、澤田賢一
- 骨髄線維症領域 座長 赤司浩一
6. これまでの研究結果と今後の計画について (3分) (14:01-14:04)
- 九州大学 病態修復内科 ○赤司浩一
7. 骨髄線維症の自覚症状評価 (5分) (14:04-14:09)
- 宮崎大学 消化器血液内科 ○下田和哉、北中明、  
久留米大学 血液内科 岡村孝  
九州大学 病態修復内科 竹中克斗、赤司浩一
8. 本邦の原発性骨髄線維症の臨床像 (7分) (14:09-14:16)
- 宮崎大学 消化器血液内科 ○下田和哉、北中明  
九州大学 病態修復内科 竹中克斗、赤司浩一  
久留米大学 血液内科 岡村孝
- 骨髄異形成症候群領域 座長 市川幹
9. del(5q)を伴う骨髄異形成症候群に対するレナリドミド療法:細胞形態学と細胞遺伝学を中心とした検討 (10分) (14:16-14:26)
- 埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 ○松田 晃  
京都府立医科大学 血液・腫瘍内科 谷脇 雅史  
広島大学 血液内科 木村 昭郎・原田 浩徳  
川崎医科大学 検査診断学 通山 薫  
自治医科大学 血液内科 小澤 敬也・鈴木 隆浩

11. 鉄芽球性貧血の疫学・病態解析 (10分) (14:26-14:36)  
 東北大学病院血液・免疫科  
 (現東京慈恵会医科大学腫瘍・血液内科) ○大場 理恵  
 東北大学病院血液・免疫科 藤原 亨  
 東北大学病院血液・免疫科 張替 秀郎
12. 再生不良性貧血および骨髄異形成症候群の前方視的症例登録・セントラルレビュー・追跡調査研究 (10分) (14:36-14:46)  
 京都大学 血液・腫瘍内科 高折 晃史、○川端 浩  
 神戸市立医療センター中央市民病院 石川隆之  
 埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 松田 晃  
 川崎医科大学 検査診断学 通山 薫  
 自治医科大学 内科学講座血液学部門 小澤敬也  
 東京大学 血液・腫瘍内科 黒川峰夫
13. 鉄過剰症に関する臨床研究:進捗状況 (5分) (14:46-14:51)  
 自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也、○鈴木隆浩  
 旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科学 高後 裕、生田克哉
14. 鉄過剰症モデルマウスにおける骨髄機能の解析 (5分) (14:51-14:56)  
 自治医科大学医学部 内科学講座血液学部門 小澤敬也、○鈴木隆浩、岡部 寛、上原英輔
15. TKI 治療経過中に新たな染色体異常が認められた慢性骨髄性白血病に関する全国調査について (10分) (14:56-15:06)  
 香川大学医学部内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科 ○松永 卓也、今滝 修  
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科附属原研内科 宮崎 泰司
16. 低リスクMDS に対するアザシチジンの臨床研究 (5分) (15:06-15:11)  
 東京大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 市川幹、○南谷泰仁、黒川峰夫  
 北里大学医学部血液内科学 宮崎 浩二  
 横浜市立大学 リウマチ・血液・感染症内科 藤田 浩之  
 自治医科大学医学部内科学講座血液学部門 鈴木 隆浩  
 慈恵会医科大学 腫瘍血液内科 横山 洋紀  
 NTT 東日本関東病院 半下石 明  
 北海道大学第三内科 重松 明男

紙上報告. IPSS 改訂作業の進捗について

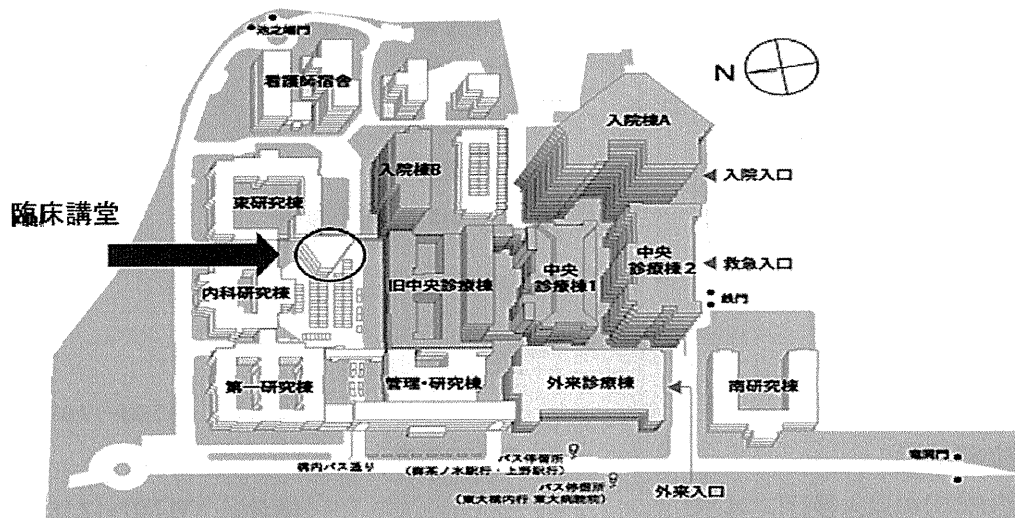
- 長崎大学 原研内科 ○宮崎泰司、波多智子  
 埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 松田 晃  
 川崎医科大学 検査診断学 通山 薫  
 東京大学 血液・腫瘍内科 黒川峰夫  
 自治医科大学 内科学講座血液学部門 小澤敬也

## 休憩

- 重点研究「不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究」班 座長 小川誠司
17. 不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究班 班長報告 (10分) (15:26-15:36)  
東京大学 医学部附属病院 がんゲノミクスプロジェクト ○小川誠司
18. MDSにおける新規 pathway 変異について (10分) (15:36-15:46)  
東京大学 医学部附属病院 がんゲノミクスプロジェクト 小川誠司、○吉田健一  
都立大塚病院血液内科 宮脇修一  
筑波大学 血液病態制御医学分野 千葉 滋
19. MDSにおける末梢血遊離 DNA を用いたグローバルメチレーション解析 (8分) (15:46-15:54)  
名古屋大学大学院 血液・腫瘍内科学 直江知樹、○富田章裕、入山智沙子、白幡瑞穂
20. del(13q)陽性 MDS-U 症例における免疫・分子病態の解析 (8分) (15:54-16:02)  
金沢大学医薬保健研究域細胞移植学・病態検査学 ○中尾真二、細川晃平、片桐孝和、山崎宏人  
東京大学医学部附属病院がんゲノミクスプロジェクト 佐藤亜以子、真田 昌、小川誠司  
広島大学原爆放射線医科学研究所 松井啓隆、稲葉俊哉
21. MDS 治療における 1 分子蛍光法を用いた脱メチル化薬の効果判定 (8分) (16:02-16:10)  
東京医科大学・血液内科 ○大屋敷一馬、浅野倫代  
東京医科大学・先端分子探索寄付講座 梅津知宏  
東京医科大学・医学総合研究所 大屋敷純子
22. 骨髄異形成症候群に対する検体集積事業の進捗状況 (5分) (16:10-16:15)  
京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 高折晃史、○川端浩  
獨協医科大学内科学(血液) 三谷絹子  
東京大学医学部附属病院がんゲノミクスプロジェクト 小川誠司
23. エピゲノム調整薬による MDS 貧血改善メカニズムの解析 (10分) (16:15-16:25)  
広島大学原爆放射線医科学研究所 ○稲葉俊哉、松井啓隆、金井昭教
24. 骨髄異形成症候群における 20q 欠失領域の解析 (5分) (16:25-16:30)  
東京女子医科大学 血液内科 泉二登志子、○志関雅幸
25. 骨髄異形成症候群の無効造血の分子基盤の解析 (5分) (16:30-16:35)  
獨協医科大学 血液腫瘍内科 ○三谷絹子、牧和宏
26. 全エクソシーケンスを行なった MDS/AA の臨床的解析 (7分) (16:35-16:42)  
筑波大学 血液病態制御医学分野 ○千葉 滋  
東京大学 医学部附属病院 がんゲノミクスプロジェクト 小川誠司
- 溶血性貧血領域 座長 金倉讓
27. これまでの研究結果と今後の計画について (3分) (16:42-16:45)  
大阪大学 血液・腫瘍内科 ○金倉讓
28. 成人期のファンconi貧血の臨床 (7分) (16:45-16:52)  
東海大学細胞移植再生医療科 矢部普正、○矢部みはる
29. Coombs 陰性自己免疫溶血性貧血の免疫病態の検討:ST2 の動態 (7分) (16:52-16:59)  
自治医科大学地域医療学センター 亀崎豊実、○豊辻智則、梶井英治

30. 長期補体欠損における発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)病態の解析 (5分) (16:59-17:04)  
 和歌山県立医科大学 輸血・血液疾患治療部(血液内科) 中熊秀喜、○花岡伸佳  
 熊本大学 感染免疫診療部 川口辰哉  
 熊本大学 血液内科 堀川健太郎  
 熊本大学 輸血・細胞治療部 米村雄士  
 大阪大学 微生物病研究所 木下タロウ、村上良子
- 小児科領域 座長 中畑龍俊
31. これまでの研究結果と今後の計画について (3分) (17:04-17:07)  
 京都大学 iPS 細胞研究所 ○中畑龍俊
32. 小児不応性血球減少症(RCC)の成人移行について (8分) (17:07-17:15)  
 聖路加国際病院小児科 真部淳、長谷川大輔、○吉原宏樹
- 造血幹細胞領域 座長 岡本真一郎
33. これまでの研究結果と今後の計画について (3分) (17:15-17:18)  
 慶應義塾大学 医学部 内科血液研究室 ○岡本真一郎
34. 移植片対宿主病が骨髄における造血およびその微小環境に及ぼす影響の検討 (5分) (17:18-17:23)  
 北海道大学大学院医学研究科血液内科学 今村 雅寛、○白鳥 聡一、  
 Memorial Sloan-Kettering Cancer Center Department of Immunology 庄野 雄介  
 北海道大学病院病理部 松野 吉宏
- 疫学領域 座長 太田晶子
35. これまでの研究結果と今後の計画について (3分) (17:23-17:26)  
 埼玉医科大学医学部公衆衛生学 ○太田晶子
36. 臨床調査個人票による再生不良性貧血の基本的疫学特性 (7分) (17:26-17:33)  
 埼玉医科大学医学部公衆衛生学 ○太田晶子  
 昭和大学医学部公衆衛生学 島田直樹
37. わが国の再生不良性貧血患者の治療状況 (10分) (17:33-17:43)  
 昭和大学医学部公衆衛生学 ○島田直樹  
 埼玉医科大学医学部公衆衛生学 太田晶子
- 閉会の挨拶 黒川峰夫 (3分) (17:43-17:46)

第二回合同班会議会場(臨床講堂)





## V. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
市川幹 黒川峰夫	急性骨髄性白血病におけるIDH1/IDH2遺伝子変異と予後	高久文麿・小澤敬也・坂田洋一・金倉譲・小島勢二編	Annual Review 血液 2012	中外医学社	東京	2012	109-115
市川幹 黒川峰夫	不応性貧血（骨髄異形成症候群）診療のエッセンス	「難治性貧血の診療ガイド」編集委員会編	難治性貧血の診療ガイド	南江堂	東京	2011	53-62
荒井俊也 黒川峰夫	エピゲノム解析による血液がんの新たな分子標的の同定	木崎昌弘	造血器腫瘍とエピジェネティクス	医薬ジャーナル社	日本	2012	In press
西村純一 金倉 譲	発作性夜間ヘモグロビン尿症	「難治性貧血の診療ガイド」編集委員会編	難治性貧血の診療ガイド	南江堂	東京	2011	93-130
宮崎泰司	骨髄異形成症候群	井村裕夫	症候群ハンドブック	中山書店	日本	2011	333
宮崎泰司	骨髄不全症候群	井村裕夫	症候群ハンドブック	中山書店	日本	2011	334
宮崎泰司	MDSの疾患概念と病態	松田 晃	骨髄異形成症候群(MDS)のマネジメント	医薬ジャーナル社	日本	2011	10-16
宮崎泰司	§3 治療 1. 治療指針	松田 晃	骨髄異形成症候群 (MDS) 診療 up-to-date	中外医学社	日本	2011	90-101
宮崎泰司	§1 総論 1. 造血器腫瘍の分類 A. WHO分類による骨髄系腫瘍の分類	木崎昌弘	白血病・リンパ腫・骨髄腫—今日の診断と治療	中外医学社	日本	2011	2-6
宮崎泰司	10 血液疾患 骨髄異形成症候群	山口 徹 北原光夫 福井次矢 小澤敬也	今日の治療指針2012年版	医学書院	日本	2012	576-577
宮崎泰司	3. 骨髄異形成症候群に対する脱メチル化薬	高久史麿 小澤敬也 坂田洋一 金倉 譲 小島勢二	Annual Review 血液 2012	中外医学社	日本	2012	65-70

庄野雄介 今村雅寛 上羽悟史 松島綱治	骨髄GVHDによる造血ニッチの障害	高久文麿 小澤敬也 坂田洋一 金倉 讓 小島勢二	Annual Review 血液 2012	中外医学社	東京	2012	31-40
大橋春彦	第5章 管理・治療：経過・予後	小澤敬也	最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 72	最新医学社	日本	2011	184-189
亀崎豊実 梶井英治	自己免疫性溶血性貧血診療のエッセンス	「難治性貧血の診療ガイド」編集員会	難治性貧血の診療ガイド 特発性造血障害の病態・診断・治療の最新動向	南江堂	日本	2011	131-142
梶井英治 亀崎豊実 唐沢正光 鈴木隆浩 小峰光博	自己免疫性溶血性貧血診療の参照ガイド(平成22年度改訂版)	小澤敬也	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服事業 特発性造血障害に関する研究班 特発性造血障害疾患の診療の参照ガイド(平成22年度改訂版)	特発性造血障害班	日本	2011	141-176
谷口康博 下田和哉	原発性骨髄線維症	小松則夫 片山直之 富山佳昭	専門医のための薬物療法Q&A 血液	中外出版社	日本	2011	116-126
北中明 下田和哉	原発性骨髄線維症の診断と治療	木崎昌弘	白血病・リンパ腫・骨髄腫—今日の診断と治療	中外出版社	日本	2011	311-319
北中明 下田和哉	骨髄線維症に対する新規治療薬	高久史麿 小澤敬也 坂田洋一 金倉讓 小島勢二	Annual Review 血液 2012	中外出版社	日本	2012	124-130
生田克哉, 高後裕	鉄過剰症		症候群ハンドブック	中山書店		2011年5月9日	312
森下総司 常田聡 小松則夫	MPNの遺伝子変異と解析法	小松則夫	骨髄増殖性腫瘍(MPN)の最新知見	最新医学社	日本	2011	35-43
山口博樹	病理・病態生理：病因と病型分類	小澤敬也	新しい診断と治療のABC 72 「再生不良性貧血」	最新医学社	大阪	2011	39-44
山口博樹		山川光徳, 猪口孝一, 室井一男	血液・造血器疾患のマネジメント	医薬ジャーナル社	東京	2011	

檀 和夫	治療方針と患者管理	小澤敬也	新しい診断と治療のABC 72 「再生不良性貧血」	最新医学社	大阪	2011	101-107
千葉滋	鑑別診断	小澤敬也	最新医学別冊;新しい診断と治療のABC 「再生不良性貧血」	最新医学社	日本	2011	95-100
Yasuhisa Yokoyama, Hidekazu Nishikii, Shigeru Chiba	Hematopoietic differentiation from embryonic stem cells	Craig S. Atwood	Embryonic Stem Cells · Recent Advances in Pluripotent Stem Cell-Based Regenerative Medicine	INTECH	ウィーン (オーストリア)	2011	251-272
Tsujioka T, Tohyama K	Application of laser scanning cytometry to clinical and laboratory hematology.	Wang CC	Laser Scanning, Theory and Applications	InTech	Croatia	2011	185-194
通山 薫	5q-症候群	井村裕夫	症候群ハンドブック	中山書店	日本	2011	336
通山 薫	スウィート症候群	井村裕夫	症候群ハンドブック	中山書店	日本	2011	337
通山 薫	III.臨床 1. 診断	松田 晃	骨髄異形成症候群 (MDS) のマネジメント	医薬ジャーナル社	日本	2011	57-63
末盛晋一郎 通山 薫	臨床検査 (一般検査、骨髄穿刺/骨髄生検、細胞化学的検査、細胞表面抗原検査)	松村 到	白血病診療ポケットブック	中外医学社	日本	2011	42-66
松岡亮仁 通山 薫	骨髄異形成症候群 D. MDSに対する新規治療薬	木崎昌弘	白血病・リンパ腫・骨髄腫—今日の診断と治療—第4版	中外医学社	日本	2011	244-254
通山 薫	主要な徴候と検査値異常 2. 貧血の鑑別	日本血液学会	血液専門医テキスト	南江堂	日本	2011	29-32
末盛晋一郎 通山 薫	臨床検査・画像検査 1. 骨髄穿刺・骨髄生検	日本血液学会	血液専門医テキスト	南江堂	日本	2011	47-49
通山 薫	臨床検査・画像検査 2. 細胞化学的検査	日本血液学会	血液専門医テキスト	南江堂	日本	2011	50-52
通山 薫	白血球系疾患・腫瘍性疾患 8. 骨髄異形成症候群	日本血液学会	血液専門医テキスト	南江堂	日本	2011	233-240

通山 薫	骨髄穿刺法、生検法 (適応と方法)	山口 徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療指 針	医学書院	日本	2012	560-561
通山 薫	MDS由来細胞株	溝口秀昭 齋藤英彦 吉田彌太郎 小澤敬也	私のこの1枚— 標本に学ぶ血 液疾患症例	医薬ジャ ーナル社	日本	2012	54-59
松田晃	二次性貧血	山口徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療指 針	医学書院	日本	2012	565-566
松田晃	骨髄異形成症候群 (MDS)	小松則夫 片山直之 富山佳昭	専門医のため のQ&A 血液	中外医学 社	日本	2011	64-79
松田晃	MDSの発症機構、分 類、診断、鑑別診断	木崎昌弘	白血病 リンパ 腫 骨髄腫	中外医学 社	日本	2011	206-215
松田晃 波多 智子	骨髄・末梢血スメア標 本	日本血液学 会	血液専門医テ キスト	南江堂	日本	2011	469-491
松田晃	MDSの診断基準と診 断確度区分	松田晃	骨髄異形成症 候群(MDS)診 療 up-to-date	中外医学 社	日本	2011	57-69
松田晃	MDSの病型分類	松田晃	骨髄異形成症 候群(MDS)診 療 up-to-date	中外医学 社	日本	2011	70-78
松田晃	病型分類とリスク分 類	松田晃	骨髄異形成症 候群 (MDS) のマネジメン ト	医薬ジャ ーナル社	日本	2011	64-72
松田晃	不応性貧血 (骨髄異形 成症候群)	松田晃	新しい診断と 治療のABC 再生不良性貧 血	最新医学 社	日本	2011	55-65
松村 到	慢性骨髄性白血病	山口 徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療指 針	医学書院	日本	2012	582-584
松村 到	白血病	泉孝英 編	今日の診療の ために ガイ ドライン外来 診療	中外医学 社	日本	2011	439-441
山口晃史、松 村 到	がん性疼痛における 造血因子の役割	高久史麿 小澤敬也 坂田洋一 金倉 讓 小島勢二	Annual Review 血液 2011	中外医学 社	日本	2011	116-122
森田泰慶	ハイリスク MDS に対 する化学療法	松田晃	骨髄異形成症 候群 (MDS) のマネジメン ト	医薬ジャ ーナル社	日本	2011	92-98

辰巳陽一	鉄キレート療法	松田晃編著	骨髄異形成症候群(MDS)診療up-to-date	中外医学社	日本	2011	160-173
松村 到	ニロチニブ	西田俊明 大津敦 土井俊彦 (編)	血管新生阻害薬のベストマネジメント	金原出版	日本	2011	153-155
杉田稔 島田直樹	疫学	小澤敬也	最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 72(血液8) 再生不良性貧血	最新医学社	大阪	2011	23-30

雑誌 (和文・英文とも)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
黒川峰夫	骨髄異形成症候群の最新診療	Medical Science Digest	38	197-198	2012
南谷泰仁、黒川峰夫	MDSの分子病態	Pharma Medica	29	9-12	2011
南谷泰仁、黒川峰夫	質疑応答「胃全摘後の大球性貧血の原因」	日本医事新報	4586	52-53	2012
吉見昭秀、黒川峰夫	悪性リンパ腫とエビジェネティクス	CLINICIAN	595	135-140	2011
吉見昭秀、黒川峰夫	骨髄異形成症候群におけるEZH2変異	血液内科	62	363-368	2011
片岡圭亮、黒川峰夫	骨髄移植と鉄代謝	臨床検査	未定	未定	2012
Kataoka K, Sato T, Yoshimi A, Goyama S, Tsuruta T, Kobayashi H, Shimabe M, Arai S, Nakagawa M, Imai Y, Kumano K, Kumagai K, Kubota N, Kadowaki T, Kurokawa M.	Evil is essential for hematopoietic stem cell self-renewal, and its expression marks hematopoietic cells with long-term multilineage repopulating activity.	J Exp Med.	208	2403-2416	2011
Nakagawa M, Shimabe M, Watanabe-Okochi N, Arai S, Yoshimi A, Shinohara A, Nishimoto N, Kataoka K, Sato T, Kumano K, Nannya Y, Ichikawa M, Imai Y, Kurokawa M.	AML1/RUNX1 functions as a cytoplasmic attenuator of NF-κB signaling in the repression of myeloid tumors.	Blood	118	6626-6637	2011

Nishimoto N, Arai S, Ichikawa M, Nakagawa M, Goyama S, Kumano K, Takahashi T, Kamikubo Y, Imai Y, Kurokawa M.	Loss of AML1/Runx1 accelerates the development of MLL-ENL leukemia through down-regulation of p19ARF.	Blood	118	2541-2550	2011
Yoshimi A, Goyama S, Watanabe-Okochi N, Yoshiki Y, Nannya Y, Nitta E, Arai S, Sato T, Shimabe M, Nakagawa M, Imai Y, Kitamura T, Kurokawa M.	Evi1 represses PTEN expression and activates PI3K/AKT/mTOR via interactions with polycomb proteins.	Blood	117	3617-3628	2011
Arai S, Yoshimi A, Shimabe M, Ichikawa M, Nakagawa M, Imai Y, Goyama S, Kurokawa M.	Evi-1 is a transcriptional target of mixed-lineage leukemia oncoproteins in hematopoietic stem cells.	Blood	117	6304-6314	2011
Hanawa, S., Akimoto, T., Uehara, E., Inoue, M., Imai, T., Kotoda, A., Yoshizawa, H., Matsuyama, T., Ueda, M., Saito, O., Hamano, Y., Yumura, W., Ozawa, K., Muto, S., Kusano, E	Renal failure caused by plasma cell infiltration in multiple myeloma.	Clin Exp. Nephrol.	15(4)	586-90	2011
Hirata, Y., Kishino, K., Onozaki, F., Nakaki, Y., Fujiwara, S., Yamamoto, C., Sato, K., Matsuyama, T., Ozaki, K., Mori, M., Ozawa, K., Muroi, K	Use of cryoprotectant-depleted allogeneic peripheral blood stem cells for transplantation.	Hematology	16(4)	221-4	2011.
Kobayashi, Y., Sakamaki, H., Fujisawa, S., Ando, K., Yamamoto, K., Okada, M., Ishizawa, K., Nagai, T., Miyawaki, S., Motoji, T., Usui, N., Iida, S., Taniwaki, M., Uoshima, N., Seriu, T., and Ohno, R	Lack of non-hematological cross intolerance of dasatinib to imatinib in imatinib-intolerant patients with Philadelphia chromosome positive chronic myeloid leukemia or acute lymphatic leukemia: a retrospective safety analysis.	Int J Hematol.	93	745-749	2011
Matsuyama, Y., Nagashima, T., Honne, K., Kamata, Y., Iwamoto, M., Okazaki H, Sato, K., Ozawa, K., Minota, S	Successful treatment of a patient with rheumatoid arthritis and IgA- $\kappa$ multiple myeloma with tocilizumab.	Intern. Med.	50(6)	639-42	2011

Meguro, A., Ozaki, K., Hatanaka, K., Oh, I., Sudo, K., Ohmori, T., Matsu, H., Tatara, R., Sato, K., Sakata, Y., Nakae, S., Leonard, W.J., Ozawa, K.	Lack of IL-21 signal attenuates graft-versus-leukemia effect in the absence of CD8 T-cells.	Bone Marrow Transplant.	46(12)	1557-65	2011
Miyawaki, S., Ohtake, S., Fujisawa, S., Kiyoi, H., Shinagawa, K., Usui, N., Sakura, T., Miyamura, K., Nakaseko, C., Miyazaki, Y., Masuya, M., Nagai, T., Yamane, T., Taniwaki, M., Takahashi, M., Yagasaki, F., Kimura, Y., Asou, N., Sakamaki, H., Handa, H., Honda, S., Ohnishi, K., Naoe, T., and Ohno, R.	A randomized comparison of 4 courses of standard-dose multiagent chemotherapy versus 3 courses of high-dose cytarabine alone in postremission therapy for acute myeloid leukemia in adults: the JALSG AML201 Study.	Blood	117	2366-2372	2011
Nakamae H, Shibayama H, Kurokawa M, Fukuda T, Nakaseko C, Kanda Y, Nagai T, Ohnishi K, Maeda Y, Matsuda A, Amagasaki T, Yanada M	Nilotinib as frontline therapy for patients with newly diagnosed Ph+ chronic myeloid leukemia in chronic phase: results from the Japanese subgroup of ENESTnd.	Int J Hematol.	93	624-632	2011.
Ohtake, S., Miyawaki, S., Fujita, H., Kiyoi, H., Shinagawa, K., Usui, N., Okumura, H., Miyamura, K., Nakaseko, C., Miyazaki, Y., Masuya, M., Nagai, T., Yamane, T., Taniwaki, M., Takahashi, M., Yagasaki, F., Kimura, Y., Asou, N., Sakamaki, H., Handa, H., Honda, S., Ohnishi, K., Naoe, T., and Ryuzo Ohno.	Randomized study of induction therapy comparing standard-dose idarubicin with high-dose daunorubicin in adult patients with previously untreated acute myeloid leukemia: the JALSG AML201 Study.	Blood	117	2358-2365	2011
Tatara, R., Ozaki, K., Kikuchi, Y., Hatanaka, K., Oh, I., Meguro, A., Matsu, H., Sato, K., Ozawa, K.:	Mesenchymal stromal cells inhibit Th17 but not regulatory T-cell differentiation.	Cytherapy	13(6)	686-94	2011
Yagi, H., Ogura, T., Mizukami, H., Urabe, M., Hamada, H., Yoshikawa, H., Ozawa, K., Kume, A.	Complete restoration of phenylalanine oxidation in phenylketonuria mouse by aself-complementary adeno-associated virus vector.	J. Gene. Med.	13(2)	114-22	2011



Yoshida, K., Nagai, T., Ohmine, K., Uesawa, M., Sripayap, P., Ishida, Y., Ozawa, K.	Vincristine potentiates the anti-proliferative effect of an aurora kinase inhibitor, VE-465, in myeloid leukemia cells.	Biochem. Pharmacol.	82(12)	1884-90	2011
藤原慎一郎、佐藤一也、平田裕二、山本千鶴、松山智洋、尾崎勝俊、森 政樹、柳沼かおり、菅野直子、中木陽子、岸野光司、小澤敬也、室井一男	自家末梢血幹細胞採取における標準的中心静脈カテーテルの使用	日本輸血細胞治療学会誌	57	283-288	2011
西村純一、金倉讓	発作性夜間血色素尿症 (PNH) の病因・病態・治療	日本内科学会雑誌	100	1994-1999	2011
西村純一、金倉讓	発作性夜間ヘモグロビン尿症の診断と治療のマネージメント	日本血栓止血学会誌	22	186-193	2011
西村純一、金倉讓	発作性夜間ヘモグロビン (血色素) 尿症と抗体薬治療	日本医師会雑誌	140	1429-1432	2011
Tomiyama Y, Miyakawa Y, Okamoto S, Katsutani S, Kimura A, Okoshi Y, Ninomiya H, Kosugi H, Nomura S, Ozaki K, Ikeda Y, Hattori T, Katsura K, Kanakura Y.	A lower starting dose of eltrombopag is efficacious in japanese patients with previously treated chronic immune thrombocytopenia (ITP).	J Thromb Haemost		in press	2012
Matsui K, Ezo S, Oritani K, Shibata M, Tokunaga M, Fujita N, Tanimura A, Sudo T, Tanaka H, McBurney MW, Matsumura I, Kanakura Y.	NAD-dependent histone deacetylase, SIRT1, plays essential roles in the maintenance of hematopoietic stem cells.	Biochem Biophys Res Commun	418(4)	811-817	2012
Murakami Y, Inoue N, Shichishima T, Ohta R, Noji H, Maeda Y, Nishimura J, Kanakura Y, Kinoshita T.	Deregulated expression of HMGA2 is implicated in clonal expansion of PIGA deficient cells in paroxysmal nocturnal haemoglobinuria.	Br J Haematol	156(3)	383-387	2012
Satoh Y, Matsumura I, Tanaka H, Harada H, Harada Y, Matsui K, Shibata M, Mizuki M, Kanakura Y.	C-terminal mutation of RUNX1 attenuates the DNA-damage repair response in hematopoietic stem cells.	Leukemia	26(2)	303-311	2012
Sekine Y, Ikeda O, Mizushima A, Ueno Y, Muromoto R, Yoshimura A, Kanakura Y, Oritani K, Matsuda T.	STAP-2 interacts with and modulates BCR-ABL-mediated tumorigenesis.	Oncogene.		in press	2012

Suzuki M, Tanaka H, Tanimura A, Tanabe K, Oe N, Rai S, Kon S, Fukumoto M, Takei K, Abe T, Matsumura I, Kanakura Y, Watanabe T.	The clathrin assembly protein PICALM is required for erythroid maturation and transferrin internalization in mice.	PLoS One	7(2)	e31854	2012
Shibata M, Ezoe S, Oritani K, Matsui K, Tokunaga M, Fujita N, Saito Y, Takahashi T, Hino M, Matsumura I, Kanakura Y.	Predictability of the response to tyrosine kinase inhibitors via in vitro analysis of Bcr-Abl phosphorylation.	Leuk Res	35(9)	1205-1211	2011
Saito Y, Shibayama H, Tanaka H, Tanimura A, Matsumura I, Kanakura Y.	PICOT is a molecule which binds to anamorsin.	Biochem Biophys Res Commun	408(2)	329-333	2011
Kamae T, Kiyomizu K, Nakazawa T, Tadokoro S, Kashiwagi H, Honda S, Kanakura Y, Tomiyama Y.	Bleeding tendency and impaired platelet function in a patient carrying a heterozygous mutation in the thromboxane A2 receptor.	J Thromb Haemost	9(5)	1040-1048	2011
Fujita J, Mizuki M, Otsuka M, Ezoe S, Tanaka H, Satoh Y, Fukushima K, Tokunaga M, Matsumura I, Kanakura Y.	Myeloid neoplasm-related gene abnormalities differentially affect dendritic cell differentiation from murine hematopoietic stem/progenitor cells.	Immunol Lett	136(1)	61-73	2011
Iriyama C, Tomita A, Hoshino H, Adachi-Shirahata M, Furukawa-Hibi Y, Yamada K, Kiyoi H, Naoe T.	Using peripheral blood circulating DNAs to detect CpG global methylation status and genetic mutations in patients with myelodysplastic syndrome.	Biochem Biophys Res Commun	419(4)	662-9	2012
Goto E, Tomita A, Hayakawa F, Atsumi A, Kiyoi H, Naoe T.	Missense mutations in PML-RARA are critical for the lack of responsiveness to arsenic trioxide treatment.	Blood	118(6)	1600-9	2011
Ohata K, Iwaki N, Kotani T, Kondo Y, Yamazaki H, Nakao S	An Epstein-Barr virus-associated leukemic lymphoma in a patient treated with rabbit antithymocyte globulin and cyclosporine for hepatitis-associated aplastic anemia	Acta Haematol	127	96-9	2011

Katagiri T, Sato-Otsubo A, Kashiwase K, Morishima S, Sato Y, Mori Y, Kato M, Sanada M, Morishima Y, Hosokawa K, Sasaki Y, Ohtake S, Ogawa S, Nakao S	Frequent loss of HLA alleles associated with copy number-neutral 6pLOH in acquired aplastic anemia	Blood	118	6601-9	2011
Takamatsu H, Yagasaki H, Takahashi Y, Hama A, Saikawa Y, Yachie A, Koizumi S, Kojima S, Nakao S	Aplastic anemia successfully treated with rituximab: the possible role of aplastic anemia-associated autoantibodies as a marker for response	Eur J Haematol	86	541-5.	2011
Sawada K.	Guest editorial: the seven wonders of erythropoiesis.	Int J Hematol.	93(1)	1-4.	2011
Miura M, Takahashi N, Sawada K.	Quantitative Determination of Imatinib in Human Plasma with High-Performance Liquid Chromatography and Ultraviolet Detection.	Journal of Chromatographic Science,	49	412-5.	2011
Nara M, Komatsuda A, Fujishima M, Fujishima N, Nara M, Iino T, Ito H, Sawada KI, Wakui H.	Renal paradoxical embolism in a hypertensive young adult without acute ischemic symptoms.	Clin Exp Nephrol.	15(4)	582-5.	2011
Akagi T, Takahashi N, Yamaguchi K, Ishizawa K, Murai K, Tajima K, Ikeda K, Kameoka Y, Kameoka J, Ito S, Kato Y, Noji H, Shichishima T, Itoh J, Ichinohasama R, Harigae H, Ishida Y, Sawada K.	Comparison of Long-Term Clinical Outcomes of CHOP Chemotherapy between Japanese Patients with Nodal Peripheral T-Cell Lymphomas and Those with Diffuse Large B-Cell Lymphoma in the Study Group of the Tohoku Hematology Forum.	J Clin Exp Hematop.	51(1)	29-35.	2011
Tanaka R, Kimura S, Ashihara E, Yoshimura M, Takahashi N, Wakita H, Itoh K, Nishiwaki K, Suzuki K, Nagao R, Yao H, Hayashi Y, Satake S, Hirai H, Sawada K, Oliver G Ottmann, Junia V. Melo, Maekawa T.	Rapid automated detection of ABL kinase domain mutations in imatinib-resistant patients.	Cancer Lett.	22:312(2)	228-34.	2011

Watanabe A, Tagawa H, Yamashita J, Teshima K, Nara M, Iwamoto K, Kume M, Kameoka Y, Takahashi N, Nakagawa T, Shimizu N, Sawada K.	The role of microRNA-150 as a tumor suppressor in malignant lymphoma.	Leukemia.	25(8)	1324-34.	2011
Takahashi N, Yoshioka T, Kameoka Y, Tagawa H, Fujishima N, Saitoh H, Hirokawa M, Enomoto K, Sawada K.	Fatal hemorrhagic pneumonia caused by <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> in a patient with non-Hodgkin lymphoma.	J Infect Chemother.	17(6)	858-62.	2011
Ubukawa K, Guo YM, Takahashi M, Hirokawa M, Michishita Y, Nara M, Tagawa H, Takahashi N, Komatsuda A, Nunomura W, Takakuwa Y, Sawada K.	Enucleation of human erythroblasts involves non-muscle myosin IIB.	Blood.	26:119(4)	1036-44.	2012
Michishita Y, Hirokawa M, Guo YM, Abe Y, Liu J, Ubukawa K, Fujishima N, Fujishima M, Yoshioka T, Kameoka Y, Saito H, Tagawa H, Takahashi N, Sawada K	Age-associated alteration of $\gamma\delta$ T-cell repertoire and different profiles of activation-induced death of V $\delta$ 1 and V $\delta$ 2 T cells.	Int J Hematol.	94(3)	230-40.	2011
Shida S, Takahashi N, Fujishima N, Kameoka Y, Nara M, Fujishima M, Saitoh H, Tagawa H, Hirokawa M, Ichinohasama R, Sawada K.	False-positive human immunodeficiency virus antibody test and autoimmune hemolytic anemia in a patient with angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	Intern Med.	50(20)	2383-7.	2011
Ito M, Takahashi N, Saitoh H, Shida S, Nagao T, Kume M, Kameoka Y, Tagawa H, Fujishima N, Hirokawa M, Tazawa H, Minato T, Yamada S, Sawada K.	Successful treatment of necrotizing fasciitis in an upper extremity caused by <i>Clostridium perfringens</i> after bone marrow transplantation.	Intern Med.	50(19)	2213-7.	2011
Kikushige Y, Ishikawa F, Miyamoto T, Shima T, Urata S, Yoshimoto G, Mori Y, Iino T, Yamauchi T, Eto T, Niino H, Iwasaki H, Takenaka K, Akashi K	Self-renewing hematopoietic stem cell is the primary target in pathogenesis of human chronic lymphocytic leukemia.	Cancer Cell	20	246-59	2011
竹中克斗, 赤司浩一	急性リンパ性白血病 病因・病態—最近の治験	日本内科学会雑誌	100	1753-64	2011
竹中克斗, 赤司浩一	白血病幹細胞とはなにか	実験医学	29	3220-26	2011